

第 49 回技能五輪国際大会（2028 愛知大会）
産業機械職種 日本代表選手選考会 実施方針

1. 目的

2028 年 11 月に日本・愛知で開催される第 49 回技能五輪国際大会（以下、WSC2028）の産業機械職種に参加する日本代表選手の選考を行うもの。

2. 主催

第 49 回技能五輪国際大会「産業機械職種」選考委員会（仮称）

3. 開催日程

未定（2027 年夏頃を想定）

4. 参加要件

WSC2028 の参加要件を満たす者。（年齢等）

※詳細は、中央職業能力開発協会 HP を参照のこと。

5. 求める選手像

産業機械職種は、製造業の生産設備を対象に、設置・調整・保守・修理・改造などを行い、安全で安定した生産活動を支える職種である。近年はロボットや IoT・AI を活用した自動化設備にも対応しており、機械・電気・制御に関する幅広い知識と、不具合診断や課題解決能力が求められる。

国際大会では、加工、組立て、保全、電気空気圧など複数分野を横断して理解し、安全と品質を確保しながら、スピードと精度の両立を図る能力が必要となる。

そのため、機械・電気・制御などの技術分野に興味を持ち、自ら学び続ける意欲と主体性を有し、安全・品質を最優先に行動できる人材を求める。また、日本代表選手候補として国内外の関係者と協力しながら訓練に取り組むため、誠実さ、協調性、高い向上心を備え、世界レベルの技能習得に挑戦する意欲を有する者を対象とする。

選考会への出場資格は、技能五輪全国大会の「機械組立て」職種および「精密機器組立て」職種の競技経験者に限定しない。機械組立て、設備調整、電気配線、空気圧・油圧、制御、自動化設備の運転・保守など、関連分野において一定の技能と基礎知識を有する者を広く対象とする。なお、選考会時点ですべての技能を習得している必要はなく、日本代表選手候補として選抜後の訓練を通じて総合的に習得するものとする。

6. 選考の方法

本選考会は、1回の選考会により評価を行い、日本代表選手候補を選出する予定であるが、応募者が多数の場合は、追加で参加試験等を実施する場合がある。本選考会の競技は、予知保全、手加工・溶接、機械加工、電気・空気圧設計等の複数のモジュールにより構成する。